TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

主は王である 求めよ！
ヤコブ１章 5−8 節

2022 年 9 月 17 日&18 日
余沢　武 牧師

I. はじめに

こんにちは！今日もヤコブの手紙から「**主は王である**」というシリーズを続けましょう。先週は、試練に会うことは素晴らしい喜びであると考えるべきだと学びました。なぜなら試練を通して私たちの信仰が試され、忍耐が生み出され、私たちは成長し、完成され、何一つ欠けることのない完全なものとされていくからです。

一方で、試練そのものは必ずしも「成長」に結びつくものではないということも学びました。絶望、怒り、その他の罪を引き起こすこともあります。忍耐が生み出されたときにのみ、成長へと導かれるのです。では、どのようにしたら忍耐できるようになるのでしょうか？それが今日のポイントです。では、まず祈りましょう。

II 求めよ！
(1)　知恵を求める

ヤコブの手紙 1 章 5 節を見てみましょう。そこには次のように書かれています。「あなたがたの中で知恵に欠けている人があれば、神に求めなさい。そうすれば、与えられます。神は、とがめもせず惜しみなくすべての人に与えてくださる方です。」

●ここでは「知恵に欠けている人があれば」と書かれています。ここでの「あれば」とは、「私たち全員が知恵に欠けている」ということになります。
●「知恵」とは、試練に耐え、成長するために必要な「知恵」を指します。
●私たちは皆、神に「求め」なくてはなりません。神は「惜しみなく」、「とがめもせず」与えてくださいます。

したがって、試練がきたら、私たちが最初にやるべきことは、神に求めることです。すなわち、神に求め続け、神に祈り続け、神に訴え続けることです。神は「とがめもせず」、「惜しみなく」知恵を与えてくださいます。

「惜しみなく」という言葉は、「一心に」というニュアンスをもっています。神が与えるとき、その人のことを「一心に気にかけて」、与えてくださいます。それは、まるで、私たちが求めているものを与えること以外は他のことを何も考えないかのようです。その姿は、子どもが欲しいものを与えようと決めた親に似ています。

私たちの子どもがまだ小さかったとき、熱海に家族旅行に行ったことがあります。一週間ずっとお刺身などの新鮮な生の海鮮を楽しみました。最後の日のお昼に焼き魚を食べたいと思いました。それが熱海での最後の外食でした。

私は皆が一番好きなものを食べさせてあげようと決めました。何が食べたいか聞いたところ、
1. 美樹は焼きイカ
2. 娘はマグロの刺身
3. 息子はラーメン

を食べたいと言いました。

そこで、焼き魚、焼きイカ、マグロの刺身、ラーメンの 4 つを全て出してくれるレストランを探そうとしました。
① まず、船着場まで歩いて行きました。30 分かかりましたが、残念ながらだめでした。
② 次に、商店街に歩いて行きました。また 30 分かかりました。海鮮を出す店とラーメンを出す店、両方ともたくさんありましたが、両方を一緒に出してくれる店は一軒もありませんでした。
③ 皆で歩き続けて、最後に古びた駅の建物の 2 階にあるレストランを見つけました。そこには、4 つすべてのメニューの見本が並べられていました。その時点で 2 時 30 分ころになっていました。

店に入り、皆で食べたい物を注文しました。でも、私が「焼き魚」を注文したら、ウェイトレスが焼き魚は 20 分かかると言ってきました。ウェイトレスは他の物を注文して欲しそうでしたが、長い時

間歩き回った後で「焼き魚」を諦める気にはなりませんでした。

「良いです、待ちますよ」と言うと、ウェイトレスが「メニューの見本にあった魚ではなく、サンマになります」と言いました。サンマは好きです。でも、サンマは熱海の魚ではなく、東京のスーパーで百円程度で買うことができる魚です。私はムッとし、サンマはやめました。結局、中華の炒め物か何かを注文しました。

しかし、そんなことは重要ではありません。どのように私が、子どもたちが食べてたいものを食べさせてあげようとしたかに注目してください。私は一心でした。私の心は、彼らの食べたいものを食べさせたいという思いで一杯でした。何があっても妥協しないつもりだったのです。彼らが食べたいものを与えました。これが惜しみなく与えるということです。

これが神様のなさる惜しみなく与えるということです。私たちが神に求めさえすれば、神は試練の中にいる私たちに一心に「知恵」を与えようとしてくださいます。このように私たちは成長し、完全にされ、何一つ欠けたところがないものとされるのです。

(2) 信じて求める

ヤコブは続けます。**6 節から 8 節**「少しも疑うことなく、信じて求めなさい。疑う者は、風に吹かれて揺れ動く海の波に似ています。そのような人は、主から何かをいただけるなどと思ってはなりません。二心のある人で、その歩む道のすべてに安定を欠く人だからです」

しかし、私たちがクリアーしなければならない条件があります。「少しも疑うことなく信じて求め」なくてはいけません。

① 神が私たちに必要な答えと知恵を下さると信じること
② 神により頼み、その答えに 100%頼る心構えをもつこと
③ 神を信頼し、その指示に従い、神の言葉(聖書)に完全に従う心構えをもつこと

神の助けと知恵を見過ごし、試練に打ちのめされる確実な方法は、神を疑い、二心で安定を欠くことです。

二心で安定を欠く人は、神の知恵を信頼しません。他のところからの知恵にも頼ろうとします。そのような人は二心を持っています。

① 彼らは、まず「神」と「その知恵」に信頼します
② 彼らは、次にその他の知恵に信頼を置きます。人間の知恵、感覚、皆が行う選択、個人的な好み等の「その他の知恵」は、神の知恵よりも良く聞こえるかもしれません。このような二心の考えが行ったり来たりするのです。

旧約聖書の第二列王記 5 章のナアマンの話を覚えている方もいらっしゃるでしょう。ナアマンはアラムの軍隊の将軍でした。神の預言者エリシャが皮膚病を癒すことができると聞き、ナアマンはエリシャのところに出かけて行きました。神はエリシャをとおして、ヨルダン川で 7 回体を洗うように言いました。

ナアマンは言われたとおりにしましたか？いいえ。ナアマンは、自分自身の知恵に頼りました。ダマスコの川の方がきれいだと思ったのです。これが二心です。彼は癒されましたか？いいえ。彼のしもべたちが預言者をとおして語られた神の言葉に信頼するよう、ナアマンを説得してはじめて彼は神を信頼し、ようやく癒されました。

ヤコブは、神を疑うとき私たちは「風に吹かれて揺れ動く海の波」に似ていると言っています。「常に不安定な」海のようだと表現しました。波は、風の向きや強さが変わるように、上がったり下がったり、右に左に、行ったり来たりと常に変化します。

神はある方向に導いているのかもしれません。しかし、人間の知恵や、感覚、皆がする選択や個人的な好みに導かれてあらゆる方向に行ってしまうのです。

ヤコブは、「そのような人は、主から何かをいただけるなどと思ってはなりません。」と言っています。そのような人は神に叫び求めることができます。神の言葉を読むことができます。しかし、「二心のある人で、その歩む道のすべてに安定を

欠く人」なので、試練は忍耐や成長を生むことが決してないのです。

(3) 適用

本来、試練は私たちの信仰を試し、忍耐を生じさせ、私たちを成長させるものです。しかし、私たちは神の知恵を求め、祈り、叫び求め続けなくてはなりません。神がひたすらになってわたしたちを助けてくださると信頼し、神の言葉に従い、待たなくてはいけません。例えば、

(1) 友だち、配偶者、子ども、両親、上司、同僚と争いになった場合、私たちは次のことをしなくてはいけません。
1. 知恵を求め、神に祈り続ける。
2. 神が一心に私たちを助けようとしてくださっていると信頼する。
3. 日々の QT で聖書を読む時、その状況に則した神の命令を探し、神が私たちにしてほしいことがないか見る。この場合だとそれはこのようなことかもしれません:

●**マタイによる福音書 5 章 23−24 節**「だから、あなたが祭壇に供え物を献げようとし、きょうだいが自分に恨みを抱いていることをそこで思い出したなら、その供え物を祭壇の前に置き、まず行って、きょうだいと仲直りをし、それから帰って来て、供え物を献げなさい。」
だから私たちは赦しを求めに行きます。平和をもたらすために私たちの役割を果たします。
●**マタイによる福音書 5 章 44b 節**「敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。」これを行いましょう。

4. それから、祈り続け、その人を愛し続け、信仰を持って神がその状況を通して働かれることを待ちましょう。この過程を通して私たちは成長し、完全なものとされ、何一つ欠けたものがないようにされます。

(2) もし不適切な関係にあり、その関係を続けたいとの誘惑に駆られているなら、
1. 知恵を求め、神に助けを叫び求める。
2. 神が夢中になって打ち込んでくださると信頼する。
3. 日々の QT で聖書を読む時、その状況に則した神の命令を探し、神が私たちにしてほしいことがないか見る。この場合だと、

●**ヨハネの手紙第一 1 章 8 節(−9 節)**「自分に罪がないと言うなら、自らを欺いており、真理は私たちの内にありません。私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、あらゆる不正から清めてくださいます。」 ですから神に罪を告白しましょう。

●**テモテへの手紙第二 2 章 22 節**「若い頃の情欲を避け、清い心で主を呼び求める人々と共に、正義と信仰と愛と平和を追い求めなさい。」
このようにしましょう。

4. 神が私たちにやるように言われていることを行ったら、祈り続け、誘惑から逃げ続けましょう。義を追い求め続けましょう。そして信仰をもって神が私たちのうちに働かれるのを待ちましょう。この過程を通して私たちは成長し、完全なものとされ、何一つ欠けたものがないようにされます。

(3) 他の試練でも同じです。経済面、職場、健康、子育て、その他の試練でも
1. 知恵を求め、神に助けを叫び求める。
2. 神が一心になって助けてくださると信頼する。
3. 聖書を読み、神が私たちにして欲しいことがないか確認し、そのことを行う。
4. 神が私たちにやるように言われていることを行ったら、祈り続け、従い続けましょう。信仰を持って、神が働いてくださることを待ちましょう。そうすれば、成長し、完全なものとされ、何一つ欠けたものがないようにされます。

(4) 結論

でも、あなたがそうしたくても、単純にそれをする強さがなかったらどうしましょう？強くないのはあなただけではありません。皆同じなのです。つまりあなたも「救い主」が必要なのです。

1. 十字架に行き、
2. 罪を告白し、イエスの十字架での死は、あなたの罪の罰であることを受け入れ、
3. 私たちを助けるためにイエスが蘇られたと信じ、

4. 聖霊があなたを助け、変わるための意思や力を与えてくださるよう求めましょう。

諦めてはいけません。忍耐を持って続けましょう。忍耐がその効果を発揮したとき、神の恵みによって、あなた自身が成長し、完全なものとされ、何一つ欠けたものがないようにされるのに気づくでしょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https:// t-b-c.us/sg3822jp

★クラス201
霊的成長について
9月24日（土）13：30～17：30
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1. 週末礼拝メッセージ翻訳者
   1か月半に1度くらいのペース
   自宅での作業になります。
   英語を日本語へ翻訳します。
2. 日本語字幕オペレーター
   月1回～各礼拝の時間（特に3時、5時の礼拝募集）の字幕のページをめくる奉仕です。英語を聞いて日本語がどの翻訳部分かわかる程度の英語力が必要です。操作は矢印キーを押すだけの簡単なものです。
3. 日本語字幕作成/オペレーター
   月1回～土曜日16時～
   プロプレゼンターというソフトで翻訳された原稿を字幕に落とします。操作は簡単で1回のトレーニングで作成できるようになります。作成に1時間くらいかかります。その後19時からの字幕オペレーターもお願いします。
4. 日本語レイアウト&印刷
   月1回～土曜日16時～
   TBCに来て作業します。この今見ている紙を作成してもらう作業です。ひな形に翻訳された原稿を入れて、読みやすくレイアウトし、印刷してもらいます。MS WORDの操作が分かる方。英語力不要。

連絡先（ひろみ）：
hiromik@tokyobaptist.org